

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	時田 隆弘 (ときた たかひろ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	e-school 課程 健康福祉科学科 α コース レベル C
発表年月 または事業開催年月	2025年 12月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第38回日本動物細胞工学会 2025年度国際大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	○Takahiro Tokita, Reina Mimata, Yuki Marugame, Satoshi Yano, Hiroyuki Takenaka, Yuji Yamaguchi, Taichi Hara
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	The Microalgae That Activate Autophagy Independently of mTORC1
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>微細藻類は、天然由来の新たな食資源として注目されカーボンニュートラルや SDGs などの諸課題解決にも貢献する有望な素材としても期待されている。本研究では、複数の微細藻類から、オートファジー活性に与える影響と、メカニズムを解析することで、素材としての機能性やポテンシャルを評価することを目的とした。</p> <p>本学会大会において試料のスクリーニング結果を通してオートファジーアッセイデータとメカニズムの解析を実施し、オートファジーアッセイや微細藻類の持つポテンシャルについて課題解決の糸口となる問題提起を示唆することが出来たと考えている。</p>	

※無断転載禁止